

第4回

URA研究戦略 マネジメント勉強会

～大学・研究機関の研究力強化に向けて～

9.18 木
15:00-17:00

日本医科大学橘桜会館 / オンライン
(文京区向丘2-20-7)

講演テーマ

アカデミアにおける Gatekeeperの重要性

2010年以降、日本国内においてもRA（リサーチアドミニストレーター）の重要性が見直され、文部科学省による「URAの育成・確保するシステムの整備」事業等により、年々URAを配置する大学や配置人数が増加傾向にある。また、我が国の研究力強化を支える人材としてのURAの職務も多様になってきており、企業との共同研究や橋渡し等、企業との連携の重要性も高まっている中で、「産」におけるその理解度はまだまだ改善の余地が残されたものであり、課題となっているように思われる。アカデミアにおける学内外のGatekeeperの役割を担い、組織の状況や外部の変化を敏感に察知して組織内への適切な情報の共有に加え、専門性を有しながら組織外とのコミュニケーションを取ることも必要となるURAの現状と今後必要な取り組みについて議論したい。



講師 大村 光代 先生

東京医科大学 医学総合研究所
非常勤講師

1983年 明治薬科大学薬学部卒業
2002年 テンプル大学大学院(Executive MBA)経営学修士 修了
2015年 慶應義塾大学医学部医学研究科 医学博士号取得

国内外の製薬企業でマーケティング 事業開発（医薬品の導出入・共同研究）やライセンシング業務に従事した後、ベンチャー企業において創業から約5年その育成に携わり、その後は慶應義塾大学医学部等のアカデミアにてTranslational Research、大学発の研究シーズ支援やベンチャー支援に取り組んでいる。

プログラム

開会・趣旨説明

講演（45分）

質疑応答・ディスカッション（60分）

まとめ・閉会

URA研究戦略マネジメント勉強会とは？

早稲田大学と日本医科大学の協定にもとづいて2022年に発足。大学が多様なステークホルダーを巻き込んで社会変革の原動力として成長することを目指し、URAなど研究支援者自らが戦略的に仕掛けるマインドを磨くための勉強会です。

過去の勉強会についてはこちら



参加申し込み 9/14
締切

<https://forms.gle/umwZTxBaS4PYaVGq8>



主催：日本医科大学/早稲田大学研究戦略センター

世話人：松山琴音、國村有弓（学校法人日本医科大学研究統括センター）/日本医科大学事務局研究推進部

松永 康、丸山浩平（早稲田大学研究戦略センター）

✉ ura@nms.ac.jp